

<発表資料>

2024年3月7日 24023

## 花王、CDPの「サプライヤーエンゲージメント評価」で 7年連続で最高評価を獲得

花王株式会社(社長・長谷部佳宏)は、このたび、国際NGOであるCDPが実施する「サプライヤーエンゲージメント評価」で、サプライチェーンを含む製品全体を通じて気候変動対策を考え、温室効果ガス排出量の削減活動を行っていることが高く評価され、「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に7年連続で選定されました。



「サプライヤーエンゲージメント評価」は、企業が気候変動課題に対してどのように効果的にサプライヤーと協働しているかを評価するものです。CDPによる「気候変動」に関する調査内の、ガバナンス・目標・スコープ3排出量・バリューチェーンエンゲージメントの категорияにおけるいくつかの質問の中から、サプライヤー・エンゲージメントの取り組みが評価されます。花王は、サプライヤーに対する働きかけについて高い評価を得た企業として「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されました。

花王グループは、2019年4月にESG戦略「Kirei Lifestyle Plan」(キレイライフスタイルプラン)を策定しました。また2021年からは、「未来のいのちを守る～Sustainability as the only path」をビジョンに掲げた中期経営計画を推進しています。今後も、ビジネスパートナーであるサプライヤーと、気候変動、森林、水に関するリスクと機会について理解を深め、製品ライフサイクルにおけるCO<sub>2</sub>排出量を削減するなど、経営にESGの視点を導入し、事業の発展と、生活者や社会へのよりよい製品・サービスの提供をめざし、パーパスである「豊かな共生世界の実現」に向けて取り組んでまいります。

## CDP について

CDP は、企業や自治体の環境情報開示のための世界的なシステムを有する国際的な非営利団体です。2000年の設立以来、CDPは資本市場と企業の購買力を活用することで、企業が環境影響を開示し、温室効果ガスを削減し、水資源や森林を保護することを促進する取り組みを先導してきました。現在では136兆米ドル以上の資産を保有する740を超える署名金融機関と協働しています。2023年には、世界の時価総額の3分の2に相当する23,000社以上、そして1,100以上の自治体を含む、世界中の24,000を超える組織がCDPの質問書を通じて環境情報を開示しました。CDPはTCFDに完全に準拠した質問書に基づく世界最大の環境データベースを有し、CDPスコアはネットゼロ、持続可能でレジリエントな経済を構築するために投資や調達意思決定に広く活用されています。CDPは、科学に基づく目標設定イニシアチブ(SBTi)、We Mean Business 連合、The Investor Agenda(機関投資家の気候変動対策推進イニシアチブ)、NZAMI(ネットゼロ・アセットマネジャーズ・イニシアチブ: Net Zero Asset Managers Initiative)の創設メンバーです。詳しくは [www.cdp.net](http://www.cdp.net) にアクセス、もしくは@CDP の X(旧ツイッター)のフォローをお願いします。

## 関連情報

[CDP「サプライヤーエンゲージメント評価」について\(英語\)](#)

[花王、4年連続でCDPから「気候変動」「フォレスト」「水セキュリティ」の分野で最高評価を獲得](#)

[花王、ESG戦略「Kirei Lifestyle Plan」を発表](#)

[未来に向けた「花王グループの新たな挑戦」 ESG経営に大きく舵を切る](#)

[花王のサステナビリティ](#)